

# 家畜衛生だより

埼玉県中央家畜保健衛生所

電話：048-663-3071

緊急：090-2757-1650

Fax：048-666-8731

メール：m633071@pref.saitama.lg.jp

## 暑熱対策を 始めましょう！



気象庁の3カ月予報によると、**今年も関東地方の平均気温は平年より高くなる確率が高く、降水量はほぼ平年並みと予報されています。**特に今年はや二ー二現象が発生する確率が高いとされ、発生した場合、平年以上の猛暑が予想されます。すでに暑い日もありますが、人も家畜も暑熱対策を万全にして夏を乗り切りましょう！

### 暑熱対策

- ✓ 換気扇・送風機を利用し**空気の循環**
- ✓ 屋根や畜舎側面（壁・窓・出入口など）への**断熱・遮光**
- ✓ **密飼いを避け、毛や体表に付着した糞便（断熱材の役割）の除去**
- ✓ **十分な水量の確保**
- ✓ 採食量維持のため**給餌時間や頻度の工夫、消化率・栄養価の高い飼料の活用**



### 牛の適温域

泌乳牛 5～20℃

育成牛 10～25℃

肉用牛 5～25℃

25℃を超えると  
牛は暑熱ストレスを感じ  
始めます！  
例：採食量・乳量・繁殖成  
績の低下、病気の増加

人の熱中症対策も忘れずに！！

- ◆ のどが渇いていなくも定期的に水分・塩分を摂る
- ◆ こまめな休憩をとり、気温の高い時間を避けて作業を行う
- ◆ 暑さに慣れるまでは十分休憩を取り、徐々に暑さに慣らす
- ◆ 複数名での作業を行う



埼玉県中央家畜保健衛生所（さいたま市北区别所町 107-1）

TEL:048-663-3071

（24時間、土日祝日も受付）

# 家畜衛生だより

埼玉県中央家畜保健衛生所  
電話：048-663-3071  
緊急：090-2757-1650  
Fax：048-666-8731  
メール：m633071@pref.saitama.lg.jp

## 暑熱対策を 始めましょう！



気象庁の3カ月予報によると、今年も関東地方の平均気温は平年より高くなる確率が高く、降水量はほぼ平年並みと予報されています。特に今年はやニャ現象が発生する確率が高いとされ、発生した場合、平年以上の猛暑が予想されます。すでに暑い日もありますが、人も家畜も暑熱対策を万全にして夏を乗り切りましょう！

### 暑熱対策

- ✓ 換気扇・送風機を利用し**空気の循環**
- ✓ 屋根や畜舎側面（壁・窓・出入口など）への**断熱・遮光**
- ✓ **密飼いを避け、食欲・呼吸状態などをこまめにチェック**
- ✓ **十分な水量の確保**
- ✓ 採食量維持のため**給餌時間や頻度の工夫、消化率・栄養価の高い飼料の活用**



### 豚の適温域

繁殖豚 10～25℃  
肥育豚

25℃を超えると豚は暑熱ストレスを感じ始めます！  
例：採食量の低下、飲水量・水遊び・横臥時間の増加

人の熱中症対策も忘れずに！！

- ◆ のどが渇いていなくも定期的に水分・塩分を摂る
- ◆ こまめな休憩をとり、気温の高い時間を避けて作業を行う
- ◆ 暑さに慣れるまでは十分休憩を取り、徐々に暑さに慣らす
- ◆ 複数名での作業を行う



埼玉県中央家畜保健衛生所（さいたま市北区别所町 107-1）

TEL:048-663-3071

（24時間、土日祝日も受付）

# 家畜衛生だより

埼玉県中央家畜保健衛生所  
電話：048-663-3071  
緊急：090-2757-1650  
Fax：048-666-8731  
メール：m633071@pref.saitama.lg.jp

## 暑熱対策を 始めましょう！



気象庁の3カ月予報によると、**今年も関東地方の平均気温は平年より高くなる**確率が高く、降水量はほぼ平年並みと予報されています。特に今年はや二ー二現象が発生する確率が高いとされ、発生した場合、平年以上の猛暑が予想されます。すでに暑い日もありますが、人も家畜も暑熱対策を万全にして夏を乗り切りましょう！

### 暑熱対策

- ✓ 換気扇・送風機を利用し**空気**の循環
- ✓ 屋根や畜舎側面（壁・窓・出入口など）への**断熱**・**遮光**
- ✓ **鶏糞**（分解される時に熱を発生）の除去
- ✓ **十分な水量**の確保
- ✓ 採食量維持のため**給餌時間**や**頻度**の工夫、**消化率**・**栄養価**の高い飼料の活用



### 鶏の適温域

採卵鶏 20～30℃  
肉用鶏 15～25℃

25℃を超えると  
鶏は暑熱ストレスを感じ始めます！  
例：採食量・卵生産量・発育速度の低下、病気の増加

人の熱中症対策も忘れずに！！

- ◆ のどが渇いていなくも定期的に水分・塩分を摂る
- ◆ こまめな休憩をとり、気温の高い時間を避けて作業を行う
- ◆ 暑さに慣れるまでは十分休憩を取り、徐々に暑さに慣らす
- ◆ 複数名での作業を行う



埼玉県中央家畜保健衛生所（さいたま市北区别所町 107-1）

TEL:048-663-3071

（24時間、土日祝日も受付）